

■鈴木一平 出版人。{大修館書店}創業。諸橋轍次をサポートし、〈敗戦〉乗り越えて、膨大な「大漢和辞典」を刊行。

すずきいつぺい

国民之友始・1887＝ 千葉県木更津町に生まれた。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

子規句歌革新1898＝11歳： 志を立てて上京し、
店員見習を続けたが、向学の念やみがたく、

日比谷公園・1903＝15歳： 修学堂書店に奉公。

日露戦争終・1905＝17歳：
満鉄発足・・・1906＝18歳：

明治天皇没・1912＝24歳：

21ヶ条要求・1915＝27歳：
辛島海峽事件・1916＝28歳： 辛苦修業を重ねたのち、

本格政党内閣1918＝31歳： 妻トキを娶る。*独立し、神田錦町に{大修館書店}を創業。

原敬首相暗殺1921＝34歳： 学習参考書を中心にした出版事業に専念、事業もようやく順調に向かいつつあったが、

関東大震災・1923＝36歳： *震災で社屋等のすべてを焼失した。たまたま出張中であつたが、留守をあずかっていた妻が書店の生命ともいうべき紙型を箱車に積んで宮城内に逃れて、これを守り、満目焦土と化した震災後の東京で、参考書は旱天の雨のように喜び迎えられ、経営の基礎を磐石となった。かねてから出版人として世に立つ以上、何か後世に残る立派な書物を刊行したいという念願をいだいていたが、いよいよそけ時期が到来したと考え、まず類書から抜きこんで漢和辞典を刊行しようと志し、

治安維持法・1925＝38歳： *当時碩学の誉れ高かった諸橋轍次博士に依頼、
金融恐慌・・・1927＝40歳：
共産党事件・1928＝41歳： 家に通いつめること1年有半、ようやくにして承諾を受け、「大漢和辞典」編集の約定が成立した。

満州事変・・・1931＝44歳：
五一五事件・1932＝45歳：
当初一冊本の予定であつたが、編集の仕事が進捗するにつれ、どんどん増えたが、どんなに歳月と費用とを要しても、博士の納得のいく完璧な辞典を完成すべく、一生をかけてもこの事業を完遂しようと覚悟を固め、以後十数年、編集・組版・印刷その他にわたる多くの困難を克服、

日中戦争始・1937＝50歳：

日米開戦・・・1941＝54歳：

創価学会検挙1943＝56歳： ついにその第1巻を世に送り出すことになったが、

敗戦・・・1945＝58歳： *第2巻刊行を目前に、空襲によって、大辞典の組み置き版のすべてとともに、社屋もまた灰燼に帰した。
焦土から立ちあがった文化国家建設の声に応じ、焼け残った校正刷三部をもとに、息子三人共に大漢和辞典編集の仕事再開、写真植字によって技術的な困難をも克服、

朝鮮戦争始・1950＝63歳：
独立回復・・・1951＝64歳：

55年体制始・1955＝68歳： 新たになった待望の第1巻を発行。以後、引続き各巻とも順調な刊行を続け、

美智子妃・・・1959＝72歳：
安保闘争・・・1960＝73歳： 全13巻を完結させて、

震ヶ関ビル・1968＝81歳： *創業50年を機に経営を退き、
大阪万博・・・1970＝83歳： 護国寺に「大漢和辞典」出版記念碑を建立した直後に、没した。